

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ソーシャルファームによる自立支援のための就労に係る事業
事業主体 (連絡先)	ソーシャルファーム松本自立支援センター 事務局 松本市筑摩 1-11-20 上條ビル 2F (株)コミュニケーションズ・アイ内) Tel : 0263-29-2607 Fax : 0263-29-2608
事業区分	(2)-③障害者、女性、若者の雇用促進、就労支援
事業タイプ	ソフト
総事業費	898,299 円 (うち支援金 : 705,000 円)

事業内容

1、就労体験、支援講座の開催

刑余者・障害者・自立困難な若者等に対し、中間的就労の場を作るため、農林業の作業技術の体験講座と就労支援講座を実施しました。

【農業体験講座・就労支援講座の開催】

□開催回数：計4回

□参加者：計22名

□会場：農事組合法人縄文の丘中山そば振興会様圃場

□内容：刈払機取り扱い作業教育、実習に係る安全指導やながいもの収穫体験。

□参加者アンケートより「刈払い機一つ扱うのにこれだけの講習をうけなければならないとは思いませんでした」「今後に役立てたいと思います。就職に生かしたい」等

【林業体験講座・就労支援講座の開催】

□開催回数：計2回

□参加者：計21名

□会場：実技・作業体験（芥子坊主山・市民の森整備事業推進協議会様 管理区域）

□内容：チェーンソー取扱作業教育を学科講習・現場で森林整備の作業体験を実施した。(2回開催・計4日間)

□参加者アンケートより「学科、実技、あわせて沢山の知識を得ることができました。とても良い経験になったと思います」「作業中の立位置や、目線など実際にやってみて注意すべき点が良く分かりました。危険作業なので、安全にどこに気をつけて作業をするか勉強になりました。」等、大変好評でした。

◆上記講座で取得した資格を活かし、契約農林業団体から委託された作業を実施しました。

□実施日：平成27年4月～11月 期間中・計18日間

□場所：農事組合法人縄文の丘中山そば振興会様 圃場

□参加：延べ36名

□内容：なめこの菌打ち、草刈作業、長いもの収穫 等



【農作業体験講習会の様子】



【林業体験講習会の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①登録会員の増加
平成26年度：8名⇒平成27年度：21名
- ②サポートメンバーの増加
平成26年度：8名⇒平成27年度：12名
※平成26年度に登録者が、就職後サポートメンバーとなり、講習会のサポートをする姿もみられました。
- ③作業実施による当事者の収入増：
計18日間・延べ36名
※正しい技術と安全意識を身に付けることで、安全に草刈作業等に従事することができました。
※講座や作業に参加された6名の方から、就職決定報告をいただきました。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

対象とする方々がすぐに正規就労に足を踏み出すことは難しく、様々な中間的就労の形が必要だと考えます。
講座の参加や資格の取得だけでなく、経験を活かした就労体験は自信につながり、またコミュニケーションに不安を抱えた方や就労経験が浅い方も、中間的就労の場を通じて地域社会とのつながりを保つことが必要と考えます。
来年度に向けて、既存の連携団体・組織・関係者との連携強化とともに、公園・施設管理に係る団体との連携が進んでおり、さらに活動の場を拡大していく予定です。

【目標・ねらい】

- ①登録会員（当事者）の増加：
目標年度 H27 対 H26 10%増
- ②協力会員（サポーター）の増加：
目標年度 H27 対 H26 10%増
- ③当事者の就労・収入増：
目標年度 H27 対 H26 10%増

※自己評価【 A 】

【理由】

中間的就労の形を作る2年目の活動として、多くの方々に講座にご参加いただき、また開催にあたり多くの地域の皆様やサポーターのご理解ご協力をいただきました。

また対象となる方の就労機会を設け、収入増につなげることができました。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある